放課後児童クラブの質の向上について

モデルケースを活用したクラブの質向上のための県の取組案

・クラブ間格差の解消について、支援員の資質向上と併行して、クラブとしての質の向上を目指す。
・モデルケースとなるクラブを選定し、各クラブが抱える様々な課題に対し、どのように取り組んでいるのか状況を把握する。
・各クラブ運営の参考となるよう、モデルケースでの取組状況について、県内市町村に向けて情報発信を行う。

○モデルケースを選定しヒアリング

・奈良県学童保育連絡協議会より推薦いただいた生駒市に相談したところ、モデルケースとして生駒東学童保育所を紹介いただいた。
・課題に対する具体的な取組等について、今後ヒアリングを実施する予定。

〈ヒアリング予定項目〉

項目	ヒアリング
運営	・運営協議会運営とした経緯 ・運営協議会運営によるメリット、デメリット
指導員のモチベーションの維持	
保護者との連携	連携有（市町村アンケートより）
子ども教室との連携状況	連携有（市町村アンケートより）
学校との連携状況	連携有（市町村アンケートより）
支援員（指導員）の確保	現場では支援員（指導員）が不足していると感じている（市町村アンケートより） ・シフトが調整できない、分散保育するのに指導員が足りない
支援員の資質向上	
地域との連携	連携有（市町村アンケートより）
待機児童	
実施場所の確保	
オンライン化の状況	オンライン化対応可（市町村アンケートより） （課題） ・受講できるが、子どもが自由に出入りするので、集中できない ・オンラインについての知識が少ないため、運用にあたってはサポートが必要 ・オンラインだと画像が乱れたりするので、困ったことがあった